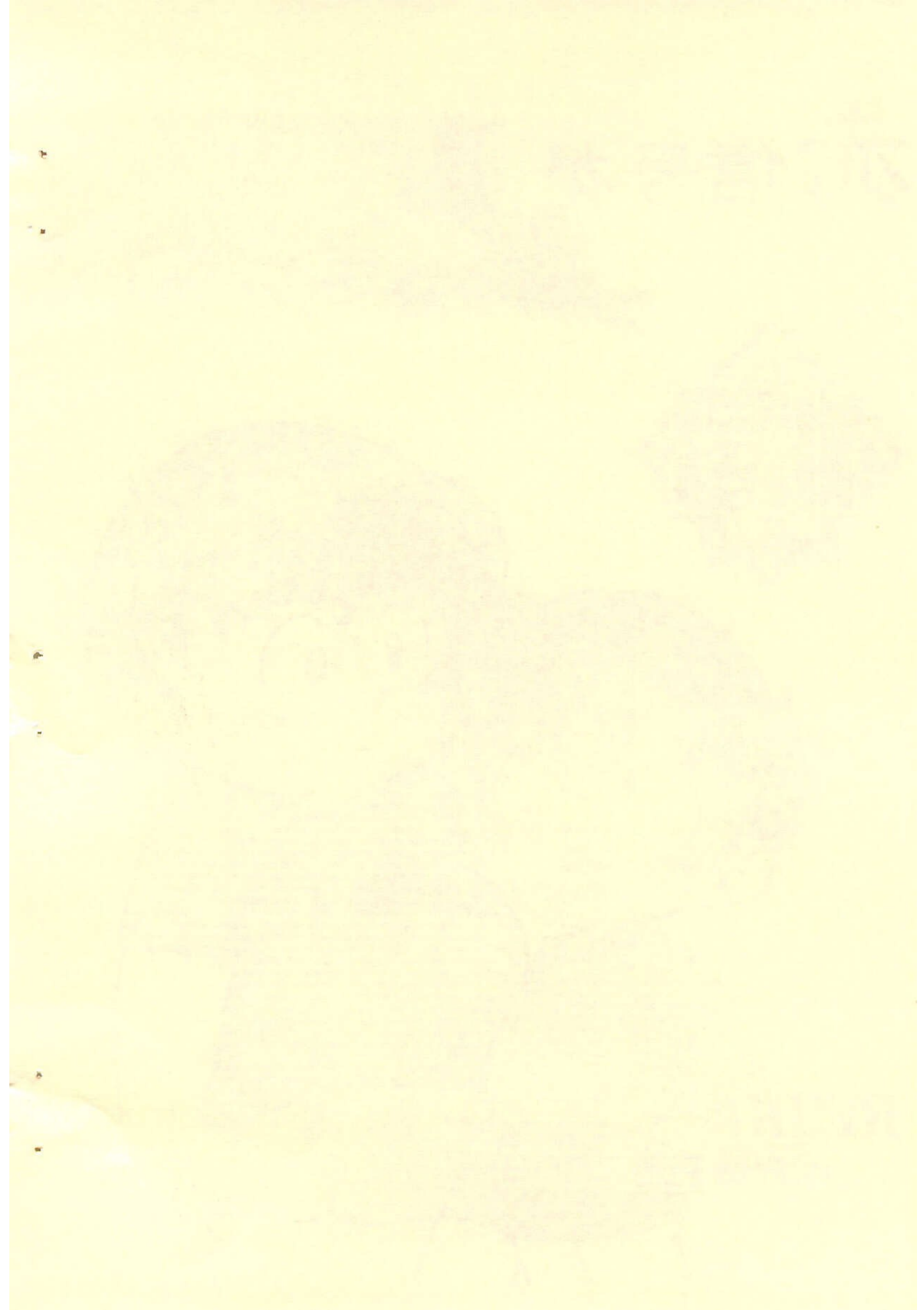


赤信号が止まらない

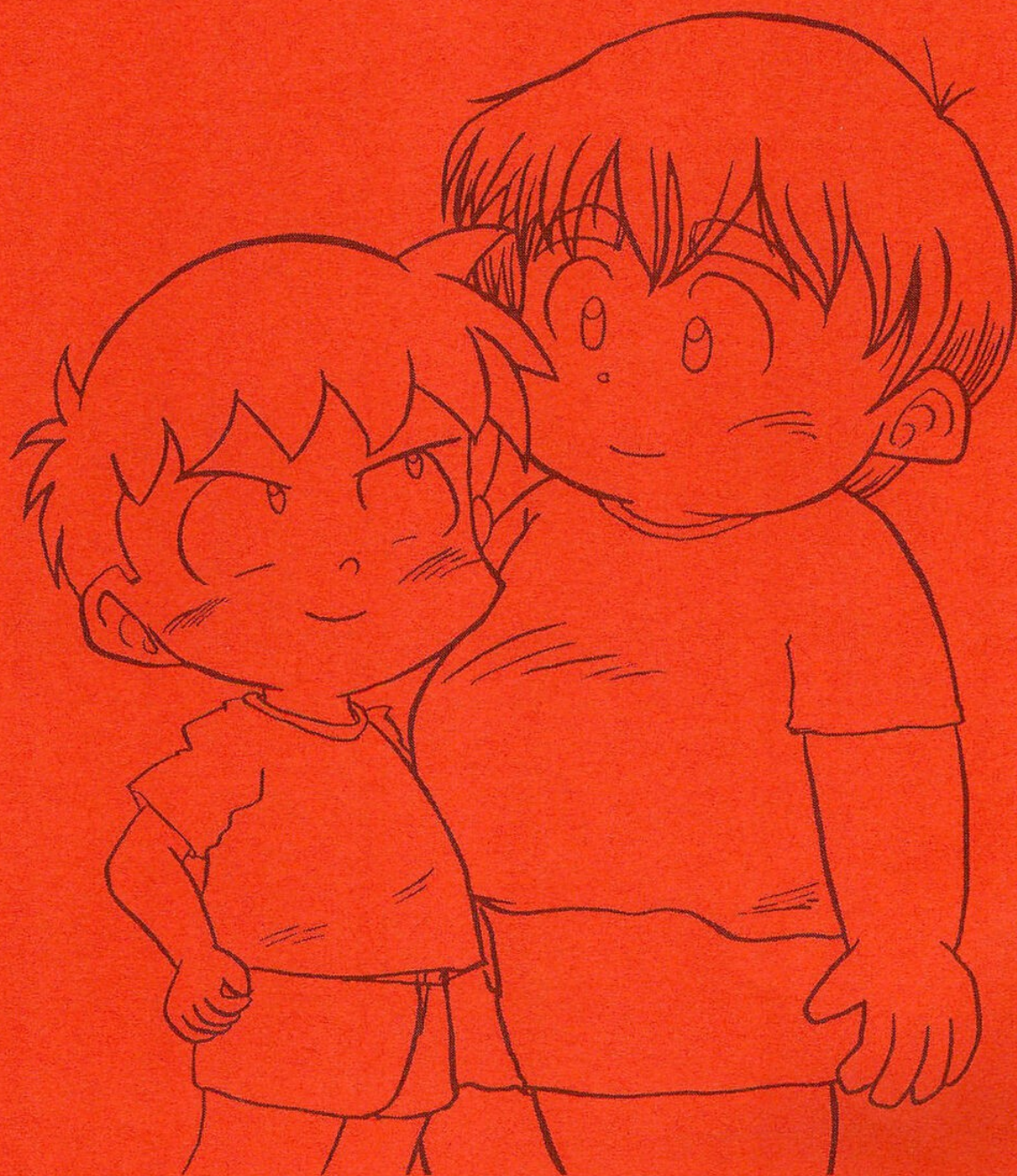


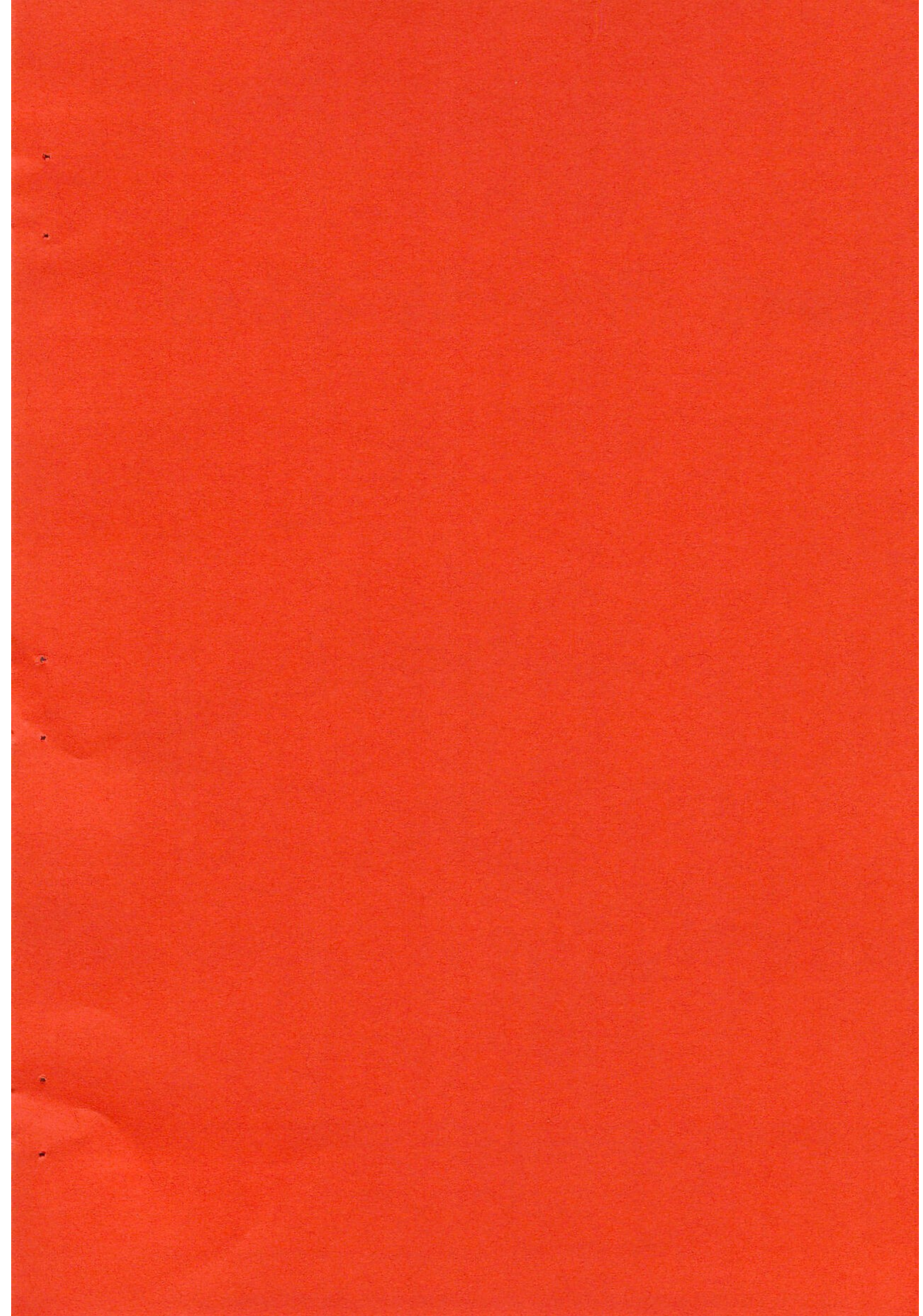
RYUKI

@From 杏村 2008



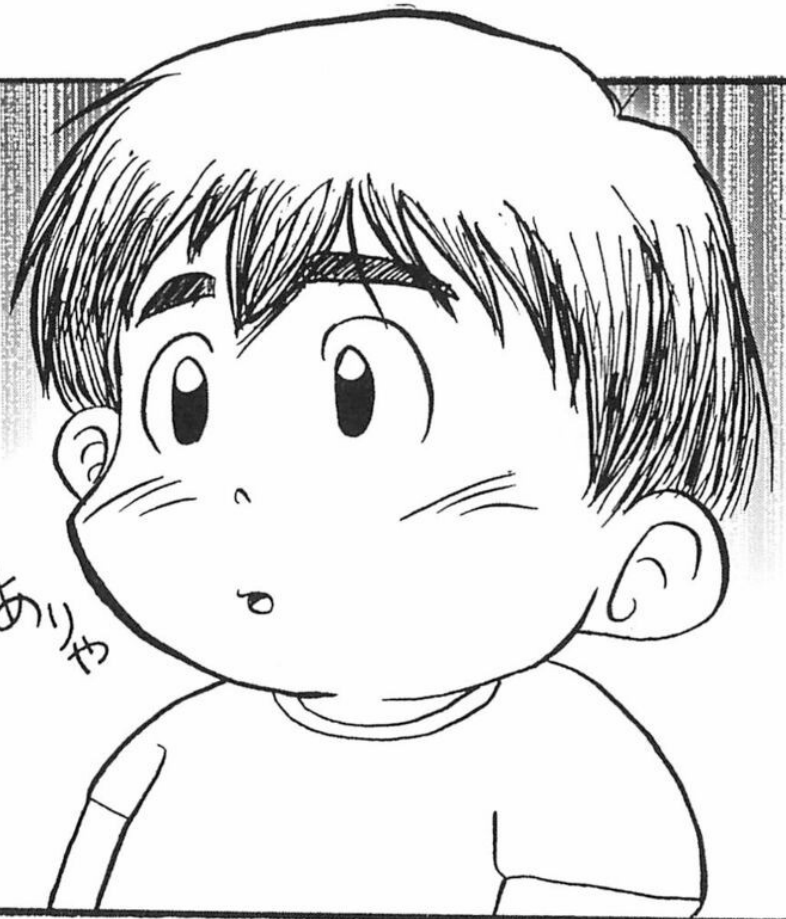
Can't Stop Red Signal





ちびっくん

1P LOSE!!
GAME OVER

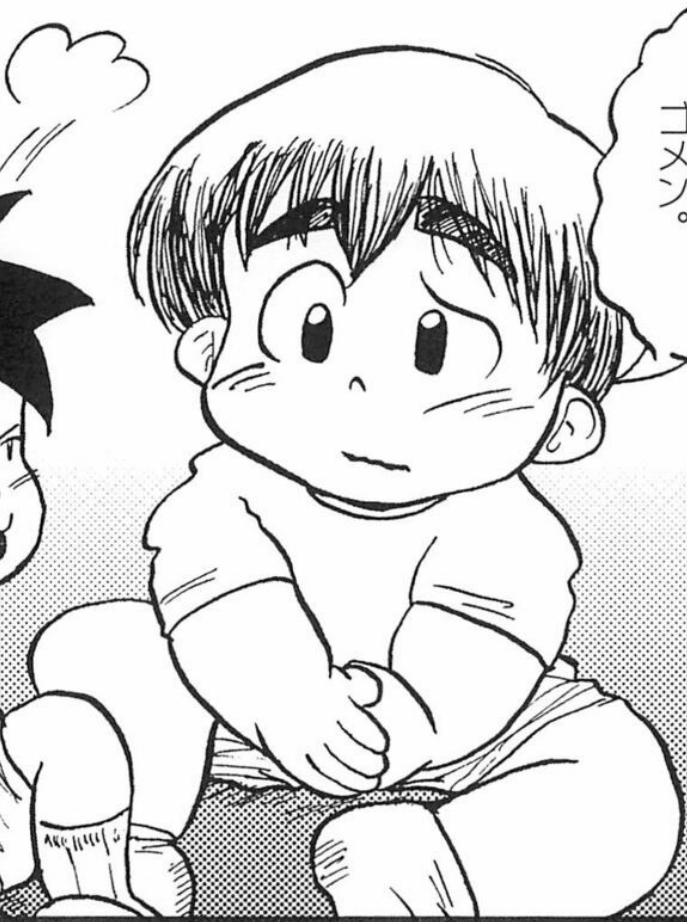


あーや

兄ちゃん：
いい加減に
してくれよ！



うん...
ごめん...



いくらオレが
3コマ年下の弟
だからって

アハハ...
じゃあいいや。

対戦で手を
抜くなんて
止めてよ！

赤信号が止まらない！

RYUKI © 西村 2008



そつ・・・
そんな事無いよ。
本当にボクが
ハタクソな
だけだよ・・・



ほほ
ダブルスコア
じゃんかよー!



じゃあ何だよ!
1Pプレイ時の
そのハイスコアはっ!
ホントはメチャクチャ
上手いって事じゃん!

大キライだっ!

兄ちゃんなこし

High Sco	
1st	1P 426900
2nd	2P 192300
3rd	2P 68300



・・・。
そんな事言ったって
どうしてもダメ
なんだから。



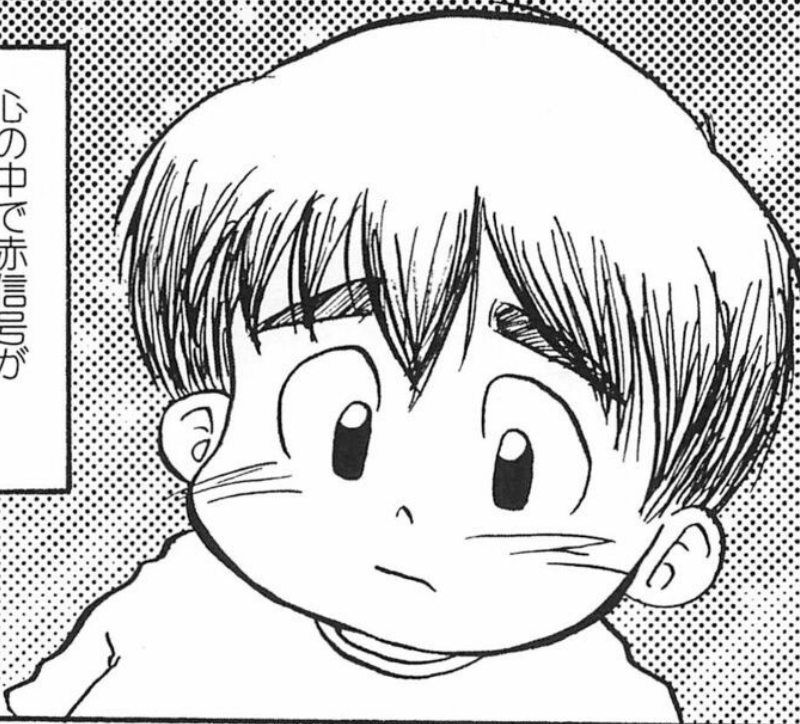
弟とか、
年下とか、
そういう事は
全然関係なくて



ゲームであろうと
何であろうと
いつだって、

人と争う時は
いつだって、

心の中で赤信号が
真っ赤に燈って
いつだって・・・。



全然、動けなくなる。

勝負に勝つ事も
負ける事も怖くて。
自分の中の赤信号が
次から次へと
真っ赤に燈り出す。

しかも、
それだけじゃなくて..
そんな事じゃダメだと
そう思う自分が、
また更に赤信号を
燈すんだ。

はあ..

とは言え..
やっぱりこのままじゃ
ダメ..
だよなあ
どうにかしないと！
こんな事で
弟に嫌われるのは
ツライよ。

とりあえず、まあ..
腹ごしらえをしてから
考えようかなあ。

ロチャーン！
ゴーンガ
びきたうー！

なかがき

当初は、バカカップルが
バカカップルになるまでの段階を、
四季を通じてゆるゆるに
描くマンガ・・・

と、そんなもの描こうと思って
ざっくりとネームを起こしてみたら、
ページ数も内容も、今の自分の力量で
形にするのは、とても困難と言う事が
(ネームを)終盤まで描き終えた時点で発覚。(遅っ；；

とりあえずソレはソレとして、
急遽、代案を考えようとした時・・・

何か、周りがデブシヨタ好いた雰囲気になってね？
・・・とか気付いて；；



たまたま、代案として
思い付いた話が、
内向的な男の子が主役の
物語になりそうだと
言う事も有り・・・

主役はデブっ子にケテーイ!!

いやまあ；；
そんな経緯で、とりあえず
描き始めたこのマンガ。

まさか・・・
まさかこんなにも、
描くのが楽しくて仕方なく
なるとは・・・
全くの予想外でした；；
(あとがきへ続く・・・)



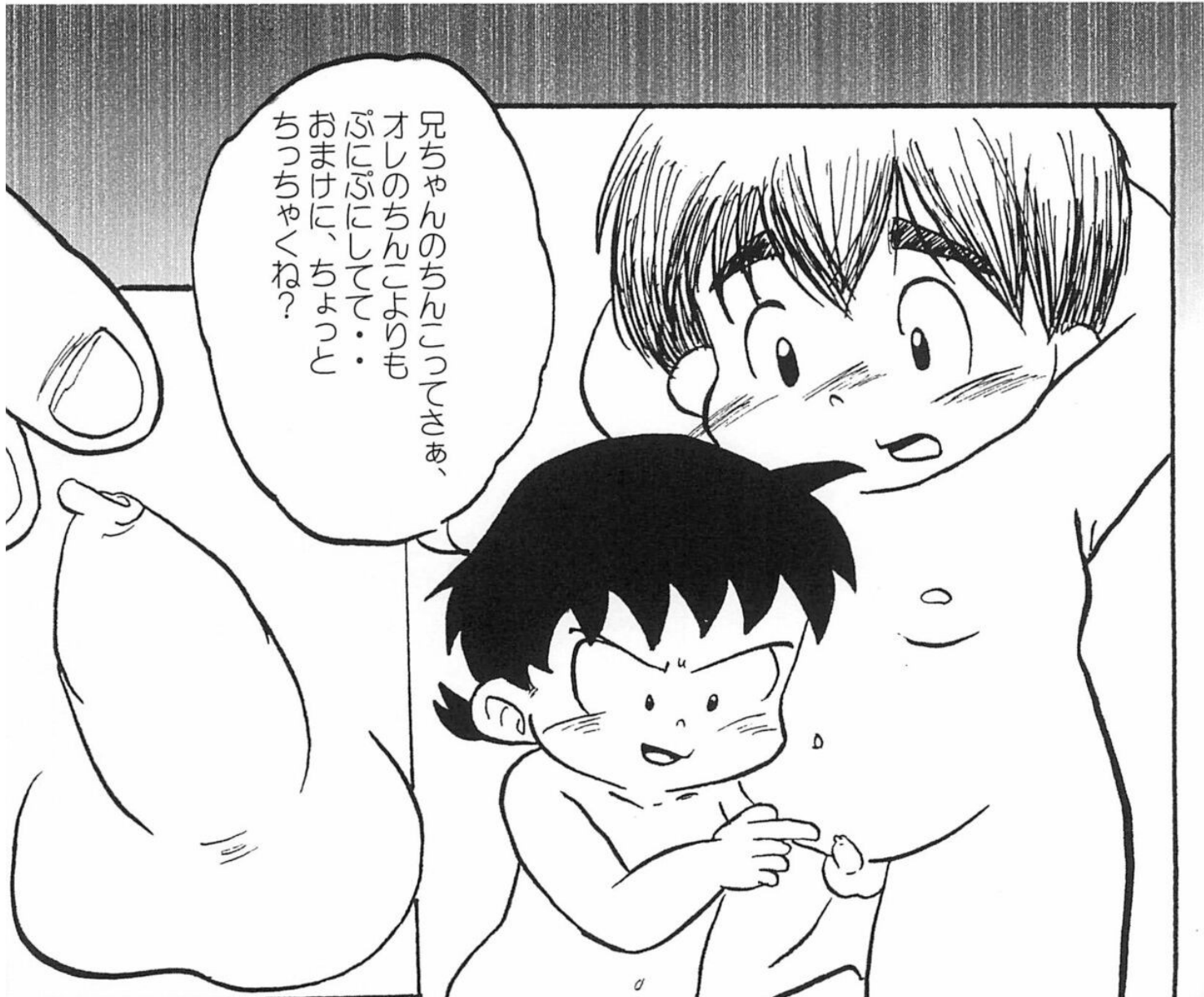
一体、
何だかんだで...



兄ちゃんが
悪いんだからね!

復讐
するんだ!

兄ちゃんが
いつもいつも
オレをナイガシロに
するから・・・
だから今日は
オレが兄ちゃんに



兄ちゃんのちんこってさあ、
オしのちんこよりも
ぶにぶにしている・・・
おまけに、ちよっと
ちっちゃくね？



確か・・・に・・・
ちっちゃいかも知れ・・・
ないけ・・・ど・・・
そんなに・・・

そんなに
弄ら・・・れ
た・・・ら・・・
出ちゃ・・・

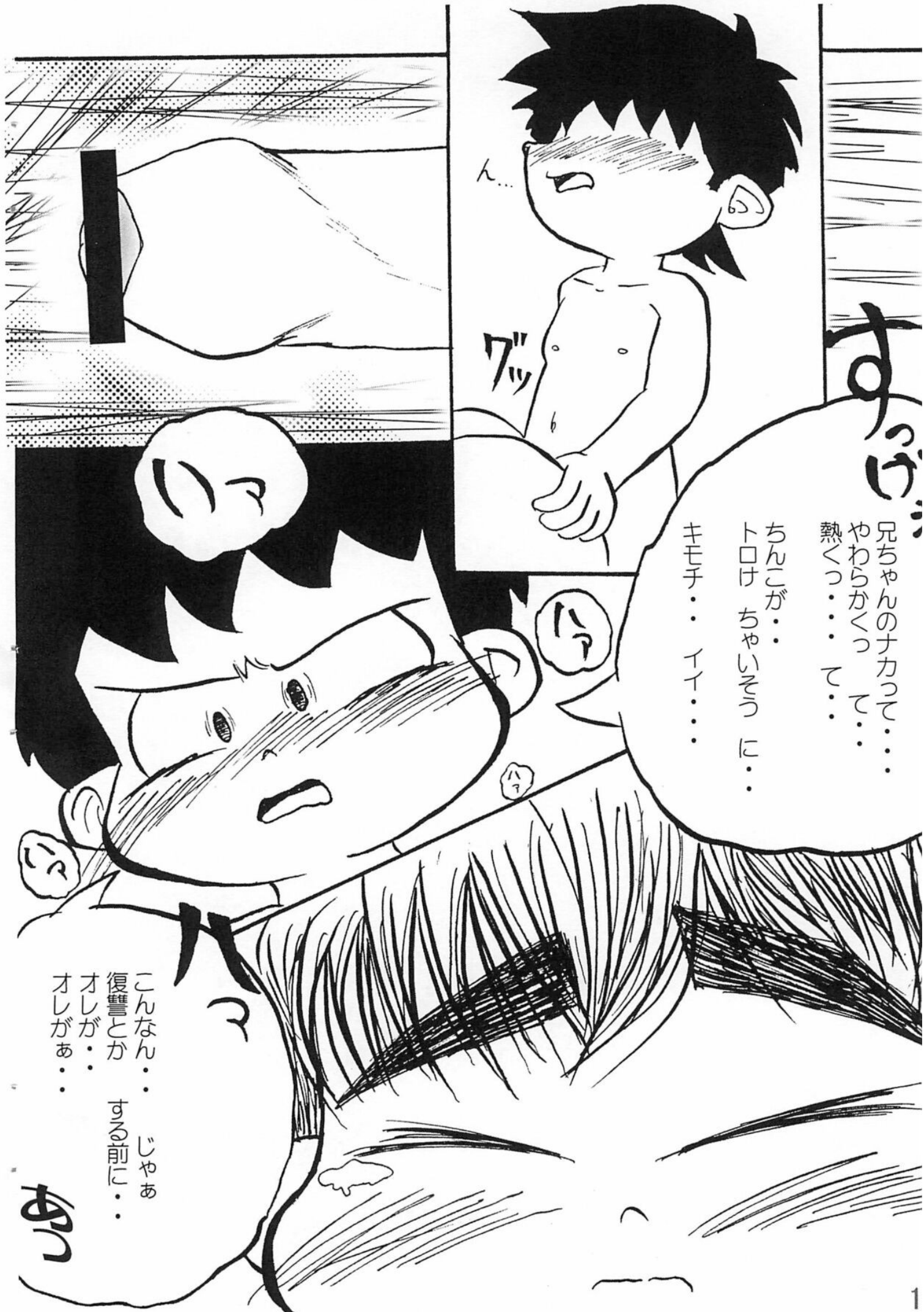
じわっ

今度はオレの
番だからね！

ドン

う…うん。
いいよ。
思いつきり
突いて…

兄ちゃんがいくら
イタいつて言ったって…
手加減なんて
してやんねーからな！



すげえ

兄ちゃんのがかかって...
やわらかくって...
熱くっ...て...

ちんこが...
トロけ ちゃいそうじ...
キモチ... イイ...

ん...

アッ

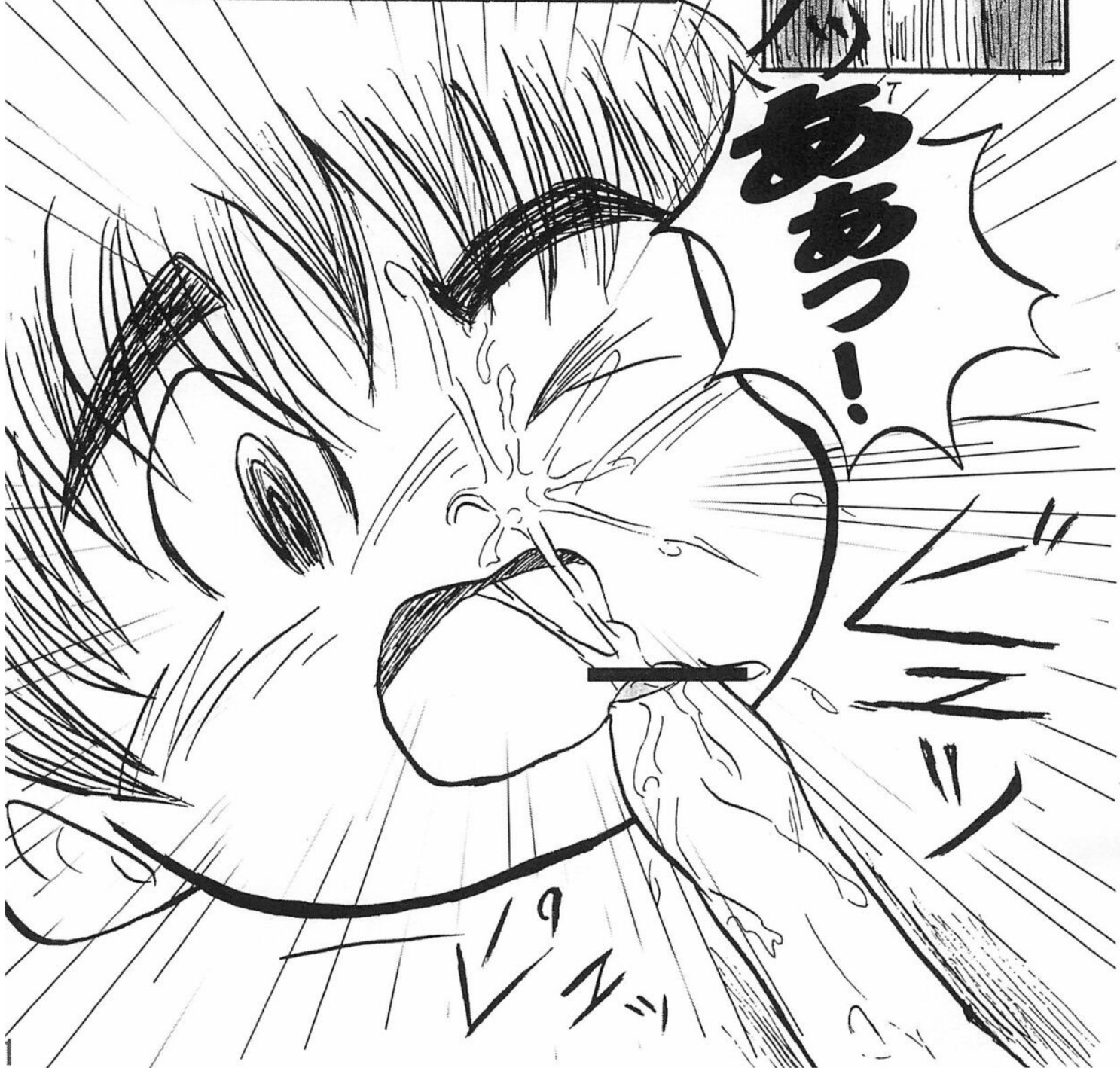
ハッ

ハッ

ア

こんなん... じゃあ
復讐とか... する前...
オしがあ...
オしがあ...

うん



まあ、夢なんだケドね。



完

Can't Stop Red Signal





CAN'T STOP RED SIGNAL



Can't top

Red signal

Can't Stop Red Signal



あとかぎ

そんな訳で、もあ。。 今回の執筆作業が妙に楽しくて楽しくて♪

『ほわ〜』としたキャラクターって、可愛いけれどあまり自分から動いてはくれない印象が強いです。そんな事も有って、物語の別の部分が中々締まらないというトラップが；；を色々と考えては見たものの、どれもしっくり来なくて最終的にはあんな感じになりました。別に、話を放り投げると言うつもりも無いけれど、変に言動を追加するよりは、あの別のほうがキャラに合っている。かな？ と。

今回、そんな締まらないキャラを、デブっ子として描いてみて。。 感じたのは、太って居ようが居まいが、こう言ったキャラってやっぱり好きだなあ。。 と。

まあ、【弟攻めの兄へタレ受け】ってのが個人的にツボだったという説も有りますが；；

それと今回は、可能な限りアナログでの作業を多くする。。という、時代に逆行した作り方をしてみました；；某氏から、デジタルなツールの導入方とか聞いて、ある程度の環境までは作っているにも拘らず、指をインクで真っ黒にしながらの、アナログ作業。。

でも今、Gペンでうにうにと線を引くのも、筆ペンでベタを入れるのも、妙に楽しくて〜やはり、いつもとちょっと違う事をするのは、大変だけど楽しかったりします。

それが、最終的な【出来】に良い影響を与えたかどうかは別として；；もう、デジタルなら綺麗に出来るのにもいい〜。。ってな局面が沢山。。今後の課題も山積みです；；

そんな感じで。相変わらずなヘッポコ本ではありましたが、ココまで読んで頂けた方に、感謝感謝、ただただ感謝です！！有難う御座いました！！



RYUKI

2008年2月17日 ショタスクラッチ5 にて

さーくる あんずむら
2008

<http://seiba.cside21.com/apr/>

当作品の無断複製・転用・転載・転売等を
一切禁止いたします。